

みんなで本屋さんに行ってきました！

～第1回学生選書ツアー報告～

今回、記念すべき第1回目の選書ツアーに学生と一緒に参加してきました。新宿駅は私の学生時代の通学途中の駅で、紀伊国屋書店新宿南店には、よく学校の帰りに立ち寄っていました。書籍が充実していることはもちろんのこと、とても落ち着く静かな空間の中で、時間が過ぎるのを忘れてしまいます。

さて、今回選書ツアーに参加し、学生の様子を見て、また私自身も選書して、感じたこと考えたことを2つ、お伝えしたいと思います。

1. 自身の興味・関心の広がり・きっかけ・気づき

学生は、選書ツアーに参加して、その書籍の量に圧倒されたようでした。普段、学校の図書館では、課題・レポートに関連する、ある決められたテーマに基づき書籍を探し、選ぶことが多いようです。しかし、選書ツアーでは、あらかじめ決められたテーマがあるわけではなく、学生の興味・関心に基づき、本を選ぶ体験をします。また、“こんな本を他の学生にも読んでもらいたい”という、普段とは異なった視点から本を選ぶ体験をします。すると、本屋さんを動き回りながら、普段では目を向けることのない領域や内容の本にも自然と目が向き、手に取ってみます。ふと、“なぜ自分がこの本を手にとったのか”と振り返ると、そこには今まで気づけなかった自分自身の興味・関心への気づきが生まれることとなります。自分の中にあるこれまでの世界が広がっていく体験ができます。これは、ぜひとも1人でも多くの学生に体験してもらいたいことです。



2. その瞬間の本への興味を逃さない！！

今回、学生が選書する様子を見ていて、考えたことがあります。それは近年指摘されている“学生の活字・読書離れ”は本当なのか？ということです。学生は、とても真剣な表情で、本を選んでいました。もしかすると、学生は本への興味を失っているわけではなく、その時々を感じる本への興味・関心を自分で掴まえられずに逃してしまっているのではと感じました。例えば、読んでみたい本を見つけても購入する金銭的な余裕がない、読んでみたい本が図書館に置いてない、インターネットで興味のある本を見つけても実際に手にとって中身を確認することができない、など。こういった点については、選書ツアーを実施することでみごとにカバーすることができるはずですが、選書ツアーを実施することで、学生の中に芽生えた知的好奇心を見逃すことなく、上手に育てていけるのではないのでしょうか。

学生のみなさん、いかがですか？ 「あっ、なんかおもしろそうだな」と思ったら、もうすでに、皆さんの中に新しい世界が広がるきっかけが生まれています。今回が“第1回目”ということは、もちろん今後も継続して選書ツアーを実施する予定です。興味・関心をもった学生のみなさん、ご参加お待ちしております！！

(木村真人／ビジネス心理科助教)

選書ツアーに参加した学生のオススメ本

『ナイトメアー・ビフォア・クリスマス』
ティム・バートン著 ビリケン出版
請求記号:726.6 || Nai

この本はこの季節ぴったりの心あたたまる1冊です！まったく新しいサンタクロースの姿が描かれており、とてもおもしろいですよ♪ぜひとも読んでみてください！
(松本好紀/子ども学科2年)

『アンパンマン大図鑑』
やなせたかし原作 フレーベル館
請求記号:726.1 || Yan

誰もが知っているみんなのヒーロー!!そのキャラクターが一冊に凝縮されています。要チェックや!!
(飯橋靖敏/子ども学科2年)

『食育のすすめ』
服部幸應著 マガジンハウス
請求記号:498.5 || Hat

「食育」に関する知識がわかりやすく載っていて、子どもだけでなく、私たち大人に対する「食」の問題も書かれているので、自分自身の食生活を見直すのにも役立つ本だと思います。
(下野亜由美/子ども学科2年)

『保育園民営化を考える』(岩波ブックレット651)
汐見稔幸他著 岩波書店
請求記号:369.42 || Shi

公設民営化ってどうということ？保育の現場が直面しているその問題を知ろう！
(袖山勝/子ども学科4年)

『食の文化史』
大塚滋著 中央公論新社
請求記号:383.8 || Oot

いま、私たちが食べているもの、いつから食べているんだろう？そんな答えがここにある。
(袖山勝/子ども学科4年)

『ご冗談でしょう、ファインマンさん』上下
R. P. ファインマン著 岩波書店
請求記号:289 || Fey || 1,2

自らを語って自惚れも自虐もなく、澄明なユーモアに満ちた文章がスゴイと思う。とにかく読まないとい損をする自伝の傑作!!
(石垣淳基/経営学科1年)

『ジャック・メスリーヌの生涯』
ジャック・メスリーヌ著 早川書房
請求記号:289.3 || Mes

1979年40人の警官に狙撃されたギャングスターが78年に脱走する前の77年に獄中にて出版した自伝です。
(千原大樹/経営学科1年)

『哲学する犬』『哲学する犬からの伝言』
クオン・デヴォン著 ポプラ社
請求記号:929.11 || Har || 1,2

この本は、犬のハルが読んでいる人の心をじんわりとさせてくれる話が短編になっていて、とても読みやすいです。
(今野菜穂/言コミ科1年)

『むかしのはなし』
三浦しをん著 幻冬舎
請求記号:913.6 || Mi

かぐや姫、桃太郎、天女の羽衣...etc.
誰もが一度は耳にしたことがあるだろう昔話の数々。そんな日本昔話が“いま”うまれるとしたら...。
(遠藤良美/ビジ心科2年)

『人間関係がラクになる心理学』
國分康孝著 PHP研究所
請求記号:336.49 || Kok

人間関係が面倒、疲れた、そんな時、この本を参考にしてください。少しでも今の関係を見直せますように。
(阿部愛美/ビジ心科2年)

『どうして私、片づけられないの?』
櫻井公子著 大和出版
請求記号:493.73 || Sak

キレイにしたいのに片づけられない!!もしかしたら「ADHD」かも...心当たりのある人はぜひ!!
(阿部愛美/ビジ心科2年)

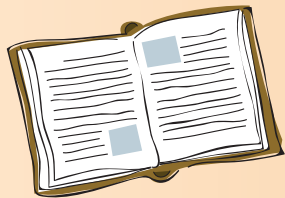
『お兄ちゃんは自閉症』
牧純麗著 クリエイトかもがわ
請求記号:493.9375 || Mak

双子のお兄ちゃんが自閉症だった...。そのお兄ちゃんとの暮らしで妹が感じたモノ...。それが、0歳の女の子の手によって書かれています。
(高寺春香/ビジ心科2年)

『子どもを愛せなくなる母親の心がわかる本』
大日向雅美監修 講談社
請求記号:367.3 || Ooh

文章ばかりでなく、絵でも説明がされているので、とてもわかりやすく読みやすいのでオススメです。
(草間美那/ビジ心科2年)





教員著作寄贈図書紹介

平成21年度も多く先生方に著書をご寄贈いただきました。
ご寄贈いただいた著書は、主要参考書コーナーにあります。

氏名50音順

書名	出版社	請求記号
大貫 学先生（経営学科）		
世の中のしくみ（図解雑学：絵と文章でわかりやすい!）	ナツメ社	304 0on
21世紀開発の経済学：豊かさの本質を追求する成熟社会の開発事業	メタモル出版	601.1 0on
岡田 康司先生（経営学科）		
日経新聞社の活用術（ベストセラーシリーズ「ワニの本」）	ベストセラーズ	330.4 0ka
新・冒険商人の起業力：キーワードは『COM』	メタモル出版	673.9 0ka
飛翔企業：攻めの経営	集英社	335.21 0ka
企業のソフト化戦略（Bigmanビジネスブックス）	世界文化社	335.21 0ka
されど護送船団は行く：巨大銀行と官僚の真実	講談社	338.21 0ka
長銀の誤算	扶桑社	338.64 0ka
オーナー経営の存続と継承	流通科学大学出版	336 Dav
につぼん快業時代：民俗経済学入門	ダイヤモンド社	673.9 0ka
「虚業」が実業になる日：こんなビジネスが成長している	東洋経済新報社	335.21 0ka
どうする日本の空洞化	平凡社	332.107 0ka
先進企業の発想と戦略：高度情報化・サービス時代	PHP研究所	335.21 0ka
ニュービジネスの経済学	草文社	335.21 0ka
サービス産業の審査・渉外学	草文社	670 0ka
汗・賢・魂の企業戦略：ハイソフト・トレンドをどうつかむか	PHP研究所	336.1 0ka
百貨店業界（教育社新書・産業界シリーズ:642）	教育社	673.8 0ka
90年代日本経済の読み方：ソフト化の波	日本放送出版協会	332.107 0ka
大型小売業はどう変わるか（日経流通ブックス）	日本経済新聞社	673.8 0ka
食品産業（新産業シリーズ:10）	東洋経済新報社	588.09 0ka
最新ビジネス用語集：すぐに役立つ	自由現代社	330.4 0ka
サービスとニュービジネスの組織（日本の組織：戦略と形態:第9巻）	第一法規出版	336.3 Iha
神長 美津子先生（子ども学科）		
はじめよう幼稚園・保育所「小学校との連携」：実践事例集	フレーベル館	376.15 Kam
幼稚園教育要領の解説 平成20年改訂	ぎょうせい	376.15 0da
川島 絹江先生（言語文化コミュニケーション科）		
『源氏物語』の源泉と継承	笠間書院	913.36 Kaw
國分 康孝先生（副学長）		
18歳からの人生デザイン	図書文化社	159 Kok
宮下 恭子先生（幼児教育科）		
保育内容「健康」：心と身体のすこやかな育みのために	大学図書出版	376.15 Miy
渡辺 千仞先生（経営学科）		
技術経済システム	創成社	336.17 Wat
The inducing power of Japanese technological innovation.	Pinter Publishers	509.21 Wat
Managing innovation in Japan: the role institutions play in helping or hindering how companies develop technology.	Springer	336.17 Wat
和田 信行先生（幼児教育科）		
今すぐできる幼・保・小連携ハンドブック	日本標準	376.15 Npo
生活科新たなステージへ：平成20年告示学習指導要領解説	日本文教出版	375.312 Mur

Information

展示のお知らせ

■「みんなで本屋さんへ行ってきました！～学生選書ツアーで選んだ223冊～」

11月4日に実施した学生選書ツアーで購入した本をまとめて展示しています。選書をしてくれた学生の皆さんのおすすめ本もコメントつきで紹介しています。色々なジャンルの本があります。貸出することもできますので、是非手にとってご覧ください！

場 所：図書館1階展示コーナー

期 間：2009年12月18日（金）～2010年1月29日（金）



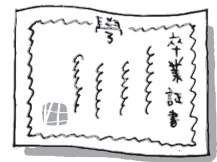
図書館利用について

■ 春季休業中の図書館利用について

【本の貸し出し】

在学生への貸し出しは通常通りとなります。

卒業生（短大2年生、子ども学部4年生）への貸し出しは
3月11日（木）で終了します。忘れずに返却をしてください。



【開館スケジュール】 *変更する場合があります。図書館HPや掲示もご確認ください。

月～金 9:00～19:00 / 土 9:00～14:00							9:00～17:00							閉 館						
1 月							2 月							3 月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					29	30	31				

■ 図書館利用の際のルール変更について（飲食・携帯電話）

2009年10月より図書館を利用する際のルールを一部変更いたしました。

* 飲食について



飲食物の館内持ち込みを全面的に禁止していましたが、ペットボトルなど蓋の閉まる飲み物のみ持ち込んで飲むことができるようになりました。

* 携帯電話での通話について



館内での通話は禁止していましたが、1階トイレ前ベンチ付近のみ可能になりました。

いずれも他の方の迷惑にならないように、ルールを守ってご利用ください。